



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク



本日の卓話 松茂信吾会員の 新入会員卓話より

WEEKLY REPORT

Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

週報

国際ロータリー第 2720 地区 熊本南ロータリークラブ

例会日：毎週月曜日 12:30~13:30

例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日：昭和 33 年 9 月 1 日（承認昭和 33 年 11 月 24 日）

会長：河津延雄 / 幹事 丸山浩之 / クラブ広報委員長 / 大津英敬



第16回例会記録(通算第 2857 回)

令和 3 年 (2021) 年 3 月 15 日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング

「奉仕の理想」

来訪者紹介

ございません

今日の例会

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 会長・幹事報告
- 4 外部卓話 坂本一様 (NPO 法人オーケストラ創造)

今月・来月の行事

- 3/27 IAC 委員長連絡協議会@Zoom
- 3/29 花見の会@とくなが中の瀬本店
- 4/18 2021-22 地区研修・協議会@Zoom

会長報告 (河津延雄君)

皆さま、こんにちは。本日もご出席ありがとうございます。本日の来訪者はおられません。本日の卓話は新入会員卓話となっています。少し時間が経ちましたが令和元年 10 月に入会されました株式会社ダイケン代表取締役社長の松茂信吾さんです。どうぞよろしくお願いたします。

3 月 8 日に定例理事会が開催されました。議題 1 は 3 月 29 日に予定している花見の会についてでした。親睦活動委員会の告坂委員長から実施内容について報告があり理事会で承認されました。花見の会には熊本南ローターアクトクラブも参加することになっています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大にともないロータリー会員だけでなく、ローターアクトを交えての交流の機会が非常に少なくなっていますので、できるだけたくさんの方に参加していただければと思っています。日時は 3 月 29 日月曜日 18 時 30 分から「とくなが 中の瀬本店」となっています。密を避ける対策も取っているとの事です。よろしくお願致します。議題 2 は例会時の食事についてです。コロナウィルス感染症拡大防止のため、例会の中止判断を県発表のリスクレベル発表で決めていましたが、発表日が水曜日から金曜日に変更となったため弁当であ

る必要がなくなりました。そこで4月から通常の食事に戻させていただく事になり承認していただきました。議題3は会費についてで、1月～3月までの会費の請求書は事務局から送付していませんが、休会が12月14日から9回ありましたので3月分のみ請求書を送らせていただきます。年度を通しての収支も不足金は発生しない予定で、理事会で承認していただきました。

昨日は国際ロータリー第2720地区2020-2021年度地区大会が11時45分からYouTube live配信で開催されました。多くの会員の方も見られたかと思います。会場には熊本南RCより後藤会員、林田会員、堀川ガバナーノミニーの3名が参加されていました。12時45分開会場で本田浩平さんの津軽三味線から始まり、終了時間は17時と約30分押しで終了しました。通常でしたら熊本での開催で次々期ガバナーは堀川ガバナーノミニーですから熊本開催となりますので、熊本南RCとしては全員参加で運営等を勉強する良い機会でしたが、残念ながら感染予防のため地区役員など関係スタッフのみの参加となりました。次年度の地区大会は大分ですが多くの会員の参加をお願いします。尚、式典では熊本出身の行定勲監督作品で熊本出身の俳優が出演している「うつくしいひと」の続編「うつくしいひと サバ？」の上映と行定監督と硯川ガバナー対談もありました。45分の短い映画ですが地震後の傷ついた街並みや風景、そして復興しようと頑張る熊本県民の心を捉えたのではないのでしょうか？最後の点鐘後に水前寺清子さんがリモートで登場し「365歩のマーチ」を歌われ熊本に元気を頂きました。今回はコロナ禍の中での地区大会となりましたが、非常に心に残る大会になったと思います。硯川ガバナーをはじめ関係者の皆様に心から敬意を表します。次々期、堀川年度の地区大会は益々ハードルが高くなりました。会員皆で成功に向けてお手伝いしていただければと思います。

以上、会長報告です。

出席報告（藤山直秀君）		
会員数	出席数	出席率
62名	44名	72.13%
出席規定適用免除者 2名	欠席記録免除者 1名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)		

幹事報告（丸山浩之君）

1. 中津中央 RC より「例会場変更のご案内」が届いております。
2. 大分城西 RC より「創立30周年記念誌」が届いております。

例会変更のお知らせ

- グリーン RC～定款に基づき休会
[日 程] 3月22日(月)18:30～
- 江南 RC～創立記念例会のため時間変更
[変更前] 3月24日(水)12:30～
[変更前] 3月24日(水)18:30～
- グリーン RC～親睦会のため日程場所変更
[変更前] 3月29日(月)18:30～
[変更前] 3月22日(月)18:30～
[場 所] 城見櫓
- 城東 RC～定款に基づき休会
[日 程] 3月29日(月)12:30～
- 西 RC～定款に基づき休会
[日 程] 3月30日(火)12:30～
- 江南 RC～定款に基づき休会
[日 程] 3月31日(水)12:30～
- 東南 RC～定款に基づき休会
[日 程] 3月31日(水)12:30～
- 東南 RC～親睦会のため時間変更
[変更前] 4月7日(水)12:30～
[変更前] 4月7日(水)18:30～

2021-22（次年度）幹事報告（馬場大介君）



皆さま、こんにちは。まず、先週3/8（月）2021-22年度 臨時理事会を開催し、SAAに喜讀宣友会員が承認されました。よろしく願いいたします。また、次年度活動計画書につきまして、次年度各委員長予定者の方に事務局より送付いたします。締切は4/9（金）の予定です。期限厳守にてご提出いただきますよう、お願い申し上げます。

地区 RYLA 委員長報告（三角雄介君）



皆さま、こんにちは。地区 RYLA 委員会より2020-21年度 RYLA セミナー受講者募集のご案内です。RYLA（ライラ）とは「青少年指導者育成プログラム」の略で、対象年齢は20～30歳、ロータリアン企業の社員、あるいは組織や地域社会のリーダーに興味のある人、ローターアクトです。今年度は5月21日（金）～5月23日（日）の2泊3

日、天草市御所浦町で開催予定です。費用は10,000円かかりますが、ぜひこの機会に会社の新入社員、若手社員にご参加の機会を提供いただきますよう、ご協力をお願いいたします。詳細は後ほど事務局よりご案内いたします。

委員会報告

ございません

●スマイルボックス(三角雄介君)

○河津延雄君・後藤 博君・丸山浩之君・玉田光識君
坂本幸樹君・森本康文君

本日の卓話者 松茂信吾会員の卓話大変楽しみにしています。本日の卓話のためだけに作られた資料素晴らしいですね。楽しみで昨日は眠れませんでした。

○沼野修一君

本日の卓話者 松茂信吾会員に心から感謝します。昨年何回も卓話予定を延長しご迷惑をおかけしました。本日の卓話楽しみにしております。

○坂本研一君・北口 誠君・古財良一君・園田修司君
告坂和紀君・谷口英樹君

本日の卓話者 松茂信吾会員に心から感謝します。

○高宮 宏君

木下貴夫会員お久しぶりです。社長就任おめでとうございます。今後ますます頑張ってください。

○木下貴夫君 V

西部ガスの事業体制変更に伴い、各地区を分社化し、4月1日付で「西部ガス熊本株式会社」として新たなスタートとなり、初代社長に就任いたします。都市ガスに加えて、プロパンガス、電気も販売します。暮らしのことは何でもご相談ください。熊本に骨をうずめる覚悟で頑張ります。今後も会員皆さまのご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

○堀川貴史君

地区大会無事に終わりました。リモート開催でしたが立派な大会となりました。我がクラブからも後藤副会長、林田会員に現場でサポートしていただきました。感謝してスマイルいたします。

○喜讀宣友君

娘が大学に合格しました。4月から京都に行くのでうれしいやらさみしいやら・・・

○松茂信吾君

今日は卓話頑張ります！

○藤山直秀君

一昨年12月にメジャーデビューした三男が所属するアイドルグループ「ロッタリーズ」が今月末で活動休止となりました。応援していただいた皆様へ感謝とお礼のスマイルです。

○漆島典和君

本日の卓話者 松茂信吾会員に心から感謝します。昨日は楽しみで一睡もできませんでした。本日は所用のため早退いたします。悪しからず。

●会員卓話 (坂本幸樹君)

「新入会員卓話」

松茂信吾君



【例会予定】

3/29 (月) 定款に基づき休会

4/5 (月) 外部卓話 杉田 成様

(杉田辰彦元会員令夫人)

4/12 (月) 外部卓話 永田壮一様 (PG/熊本城東RC)

4/19 (月) 新入社員卓話 濱崎剛自君

4/26 (月) クラブ協議会④

◆RI ニュース (国際ロータリーHP より)

「200万ドルの補助金プロジェクト：マラリア根絶プログラムをさらに拡大」



ロータリー財団は、成果が実証されている活動の規模を拡大する大規模プログラム補助金200万ドルを活用し、ザンビアでのマラリア根絶活動を支援しています。支援対象となった「Partners for a Malaria-Free

Zambia (マラリアのないザンビアのためのパートナー)」プログラムでは、マラリア発生への対応と感染予防において成果が実証されているモデルが使用され、ロータリアンが中心となって活動しています。このプログラムは、ザンビアの2つの州にある10の地区で、マラリア患者を90%削減することを目指しています。

マラリアは、マラリア原虫を媒体する蚊によって広がる疾病で、予防することが可能です。ザンビアでは、主要な疾病と死亡原因であり、特に乳幼児と妊産婦の死亡原因の一つとなってきました。

この補助金により、ザンビアのあらゆるレベルの保健当局と協力し、380人の医療施設スタッフへの研修を行い、2,500人以上の新しい地域保健ワーカーを訓練することで、国の保健体制を強化できます。これにより、被害の大きい地域に住む130万人以上の人びとがマラリアの診断と治療を受けることができるようになり、この致命的な疾病をなくすための国の取り組みに大きく貢献することができます。

米国ワシントン州のフェデラルウェイ・ロータリークラブが提唱するこのプログラムは、ザンビアでのマラリア根絶という目標を共有する地元ロータリー会員と協力団体が協力して実施されています。また、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とワールド・ビジョンUSAからそれぞれ200万ドルの共同資金が提供され、総額は600万ドルとなりました。

ゲイツ財団の担当ディレクターであるフィリップ・ウェルコフ氏は、「このプロジェクトは、ザンビアからマラリアを根絶するというザンビア政府のリーダーシップを補完するもの」と述べます。「私たちは、ロータリーやワールド・ビジョンとの長年にわたる協力関係をさらに発展させ、支援の手が届きにくい地域社会の発展と、マラリアを根絶するという目標の達成に貢献できることを嬉しく思います」

地域住民の診断と治療のために、保健ワーカーには、診断用キット、抗マラリア薬、ランセット(採血用器具)、教育用資料が提供されます。また、自転車と携帯電話を支給することで地域社会との連絡と症例の定期的報告を可能にし、国の保健システムでデータを共有します。地域社会と国の情報が統合されていることを確認し、地域の保健ワーカーのネットワークを継続的に支援することは、マラリア対策の長期的成功を導く地域保健の強化という目標の達成に不可欠な要素です。フェデラルウェイ・ロータリークラブの会員であるビル・フェルト氏は、地域社会の人たちによって選ばれたボランティアを強化することで、ヘルスケアの利用が制限されている地域社会の人びとの声を広く反映させることができると話します。サハラ以南

アフリカで10年以上にわたりロータリーのマラリア活動に携わってきたフェルトさんは、「この実証済みの医療提供モデルは、効果的かつ持続可能で、地域レベルでマラリアを削減、根絶し、永続的な恩恵をもたらす」と説明します。

ワールド・ビジョンのザンビア担当ディレクターであるジョン・ハッセ氏は、プログラム最大の魅力は、地元の保健ワーカーの力を活用できることだと話します。「これまでの経験から、支援を必要とする人びとがより簡単に医療を利用できるようにすることがいかに重要かを学びました」

ハッセ氏はまた、効果的で実績のある地域戦略こそが、マラリアという恐ろしい疾病を減らし、国内でのマラリア根絶に近づくためのカギだと付け加えます。

新型コロナウイルスは依然として世界中で脅威となっており、プログラムのリーダーたちは、保健ワーカーや地域社会のメンバーが安全な環境を確保できるように準備を整えています。保健ワーカーの訓練は、人との距離を置くことを含め、新型コロナ対応のプロトコルに従うこととなります。また、世界保健機関(WHO)とザンビア政府のガイドラインに従って、訓練コースの人数を制限します。個人用の防護具も提供され、ザンビアで新型コロナワクチンが入手可能になれば、保健ワーカーは、より効果的にワクチン活動を進めることができるようになるでしょう。

このプログラムは、ロータリー財団の大規模プログラム補助金の最初の受領者となりました。この補助金では、ロータリークラブや地区が主導し、すでに成果を実証している奉仕プログラムを拡大するために、毎年200万ドルが授与されます。これにより、ロータリー重点分野の一つに沿ったプログラムを3~5年かけて拡大し、より多くの人びとを支援し、政策開発の持続可能性を高めることができます。大規模プログラム補助金により、経験豊富なパートナーと協力して大規模かつ質の高いプログラムを実施できるようになり、ロータリー会員は活動能力を高めると共に、プログラムから得られた知識や成果をほかのロータリークラブと共有できるようになります。

「ロータリーの大規模プログラム補助金は、規模の大きい課題への包括的なソリューションを見つけるために、他団体と協力して大きいスケールで考えることを会員に奨励するもの」だと、ロータリー財団のラビンドラン管理委員長は話します。「志を同じくする団体と協力することで、ロータリーの力は大きく向上するでしょう」